

年

ねりまの文化財

平成25年度新規の登録文化財

2月12日、練馬区文化財保護条例に基づいて、新たに「草摺引図絵馬」、「アニメーション撮影台」、「文明十七年の月待板碑」など6件を登録文化財としました。

指定・登録文化財は、学識経験者で構成される区の文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て教育委員会において決定しています。

これにより区の登録文化財は、有形文化財110件、無形文化財1件、有形民俗文化財44件、無形民俗文化財23件、史跡13件、名勝1件、天然記念物11件の合計203件となりました。このうち、とくに重要であると認められる指定文化財は44件です。

文化財は、長い歴史を通じて先人たちが築き、守り伝えてきたかけがえない遺産です。区では、これからも地域文化の創造に不可欠な文化財の保護と活用を努めてまいります。

丸山東遺跡出土の

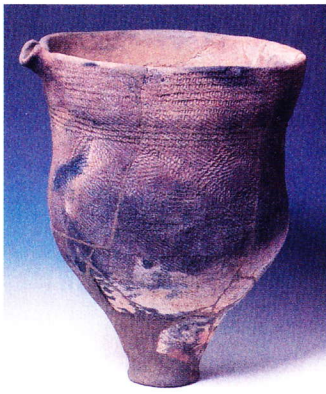
片口土器

(登録有形文化財)

〈所在〉石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館

丸山東遺跡(大泉町三丁目)の発掘調査で出土した縄文時代前期の関山式土器です。ほぼ完形で、口径は33.6cm、高さは40.5cmです。口縁部の一方に注ぎ口がつく片口土器で、複雑な縄文が施されます。



草摺引図絵馬

(登録有形文化財)

〈所在〉氷川台4-47 氷川神社

江戸時代に鳥居派の絵師が制作したと推定される縦96.5cm、横122.8cmの大きな役者絵馬です。歌舞伎の「草摺引」の場面(小林朝比奈が曾我五郎の草摺をつかむ様子)が描かれます。全体的に絵具が剥落していますが、鳥居派独特の手足を誇張した瓢箪足・蚯蚓描の表現には迫力があります。



左：小林朝比奈 右：曾我五郎

森田家資料

(登録有形文化財)

〈所在〉石神井町5-12-16

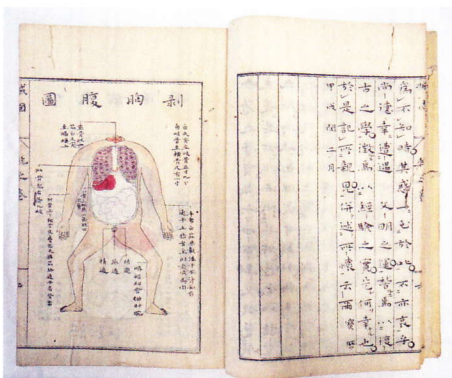
石神井公園ふるさと文化館

区内で医院を営む家に所蔵されていた書籍・帳面などの資料317点です。江戸時代から明治期までの医学書・教養書がまとまって残っています。

医学書には付箋や書き込みが多くみられ、医学に関する講義等を筆記した帳面類などもあります。どのように医学を学び、医療に従事していたのかを知ることができます。



『本草綱目』寛永14年(1637)刊



『蔵志 乾之巻』宝暦9年(1759)刊

練馬区指定文化財一覽

平成元年		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13			
年度	No.	名	称	年度	No.	名	称	年度	No.	名	称	年度	No.	名	称	年度	No.	名	称	年度	No.	名	称	年度	No.		
昭和62年度	1	小島家文書		昭和63年度	2	南蔵院鐘樓門		昭和62年度	3	北条氏康印判状		平成元年	4	妙福寺文書		平成元年	5	尾崎遺跡出土品		平成元年	6	下練馬の大山道道標		平成元年	7	下練馬の富士塚	
昭和61年度	3	町田家文書		昭和61年度	4	中里の富士塚		昭和61年度	5	大八車		昭和62年度	6	服部半蔵奉納の仁王像		昭和62年度	7	長命寺仁王門		昭和62年度	8	春日町出土の壺形土器		昭和62年度	9	鶴の舞	
昭和61年度	17	御府内并村方日記		昭和61年度	18	北町聖観音座像		昭和61年度	19	井口家文書		昭和61年度	20	井口家文書		昭和61年度	21	井口家文書		昭和61年度	22	長享二年の申待板碑		昭和61年度	23	練馬東小学校のフジ	
昭和61年度	24	石幢七面六観音勢至道しるべ		昭和61年度	25	長命寺の梵鐘		昭和61年度	26	三宝寺の梵鐘		昭和61年度	27	妙福寺の梵鐘		昭和61年度	28	閻魔・十王像と檀拵幢		昭和61年度	29	千川家文書		昭和61年度	30	丸山東遺跡出土の木製品	
昭和61年度	31	小美濃英男家文書		昭和61年度	32	本寿院のみくじ道具		昭和61年度	33	相原家薬医門		昭和61年度	34	関のかんかん地蔵		昭和61年度	35	金乗院御朱印状									

練馬区登録文化財一覽

平成元年度	昭和63年度								昭和62年度								昭和61年度				No.	名	称	所在地	所有者等					
24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1							
春日町出土の壺形土器	妙福寺文書	加藤家文書	長命寺仁王門	伊賀衆奉納の水盤・鳥居	町田家文書	氷川神社の狛犬	閻魔・十王像と檀拵幢	角柱型水盤	氷川神社の水盤	榎本家長屋門	氷川神社の旧拝殿	南蔵院鐘樓門	小島家文書	妙福寺の梵鐘	牛若丸・弁慶図絵馬	双蝶々曲輪日記図絵馬	石幢七面六観音勢至道しるべ	豊島氏奉納の石燈籠	服部半蔵奉納の仁王像	*1長享二年の申待板碑	北条氏康印判状	三宝寺の梵鐘	長命寺の梵鐘							
ふるさと文化館	南大泉5丁目6	土支田4丁目	高野台3丁目10	大泉町5丁目15	東大泉7丁目	氷川台4丁目47	大泉町6丁目24	氷川台4丁目18	石神井台1丁目18	南田中4丁目	豊玉南2丁目15	中村1丁目15	ふるさと文化館	南大泉5丁目6	高野台3丁目10	高野台3丁目10	中村3丁目11	石神井台1丁目18	高松3丁目19	(欠番)	石神井台1丁目16	石神井台1丁目15	高野台3丁目10							
	妙福寺	個人	長命寺	氷川神社	氷川神社	氷川神社	氷川神社	氷川神社	氷川神社	個人	氷川神社	南蔵院	個人	妙福寺	長命寺	長命寺	良弁塚	氷川神社	御嶽神社	道場寺	三寶寺	長命寺								

24	23	21	20	19	17	15	14
44	43	42	41	40	39	38	37
小竹遺跡出土の大珠	丸山東遺跡出土の石棒	愛染院文書	中宮遺跡5号住居址の盛土状遺構出土品	旧内田家住宅	内田家の屋敷林	神輿渡御行列図絵馬	井頭のヤナギ
平成16年度	平成21年度	平成19年度	平成8年度	平成19年度	平成3年度	平成12年度	昭和63年度

平成9年度	平成8年度	平成7年度	平成6年度	平成5年度	4	平成3年度	平成2年度	元																													
62 千川家文書	61 明叟宗普の墨跡	60 本寿院の賽銭箱	59 氷川神社の神輿	58 *2中宮遺跡5号住居址の盛土状遺構出土品	57 丸山東遺跡出土の木製品	56 金乗院御朱印状	55 阿弥陀寺の伏せ鉦	54 西大泉の稻荷神社本殿	53 高稻荷遺跡出土の旧石器	52 小美濃英男家文書	51 井口家文書	50 三宝寺山門	49 武蔵開遺跡出土の大型槍先形石器	48 井口家文書	47 石製絵馬	46 相原正太郎家住宅	45 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	44 井口家文書	43 増島家薬医門	42 莊家文書	41 尾崎遺跡出土品	40 御府内井村方旧記	39 阿弥陀寺の半鐘	38 土支田八幡宮の半鐘	37 紙本墨画淡彩希叟宗罕像	36 絹本着色明叟宗普像	35 紙本着色以天宗清像	34 下練馬の大山道標	33 宮田橋敷石供養塔	32 尾張殿鷹場碑	31 金銅製飾具	30 縄文時代の竹カゴ	29 新井家文書	28 横山家文書	27 相原家薬医門	26 尾張殿鷹場碑	25 *旧震災復興仮設住宅
ふるさと文化館	桜台6―20	早宮2―26	豊玉南2―15	ふるさと文化館	ふるさと文化館	錦2―4	練馬1―44	西大泉5―1	ふるさと文化館	大泉学園町2丁目	関町南4丁目	石神井台1―15	ふるさと文化館	関町北2丁目	春日町5丁目	ふるさと文化館	関町北2丁目	谷原3丁目	ふるさと文化館	春日町5丁目	平和台1丁目	練馬1―44	土支田4―28	桜台6―20	桜台6―20	桜台6―20	北町1―25地先	高松2―3地先	ふるさと文化館	ふるさと文化館	ふるさと文化館	桜台3丁目	高野台1丁目	田柄5丁目	大泉町3―16	(平成11年度移転により登録解除)	
	廣徳寺	本寿院	氷川神社	ふるさと文化館	金乗院	阿弥陀寺	稲荷神社	稲荷神社	個人	個人	個人	三宝寺	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	尾崎遺跡資料展示室	春日小学校	阿弥陀寺	土支田八幡宮	廣徳寺	廣徳寺	廣徳寺	練馬区	(管理者) 練馬区	個人	個人	個人	個人	個人	大泉第一小学校			

20	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度	平成15年度	14	平成13年度	12	平成11年度	平成10年度																												
98 *3小野蘭山墓および墓誌	97 篠家文書	96 大泉井頭遺跡出土の有孔鍔付土器	95 愛染院文書	94 下練馬の三十三所観音菩薩像	93 光伝寺の地藏菩薩立像	92 十一面観音懸仏	91 八幡神社の水盤	90 旧内田家住宅	89 関東大震災犠牲者慰霊碑	88 田中家の種子屋資料	87 中村南遺跡第2地点5号	86 千川上水調査アルバム	85 東早淵遺跡出土の局部磨製石斧	84 内国勸業博覧会褒状	83 関口家文書	82 愛染院の梵鐘	81 織部燈籠	80 千川上水の記録フィルム	79 丸山東遺跡方形周溝墓出土品	78 小竹遺跡出土の大珠	77 栗原家文書	76 木下家文書	75 石神井西尋常小学校のリードオルガン	74 小林家住宅	73 相原好吉家文書	72 広川松五郎関係資料	71 子ノ聖観世音碑	70 石神井城跡出土小刀	69 中野屋商店文書	68 八ヶ谷戸遺跡出土の大形把手付縄文土器	67 楠紋椿几帳柄鏡	66 絹本着色釈迦十六善神像	65 長谷川家文書	64 北町の仁王像	63 八幡神社の本殿			
練馬4―27	桜台2丁目	ふるさと文化館	春日町4―17	氷川台3―24	氷川台3―24	氷川台3―24	中村南3―2	石神井町5―13	錦1―19	北町5丁目	中村南1―2	豊玉上1―26	ふるさと文化館	ふるさと文化館	春日町4―17	土支田3丁目	高松3丁目	ふるさと文化館	ふるさと文化館	ふるさと文化館	ふるさと文化館	ふるさと文化館	ふるさと文化館	桜台5丁目	田柄5丁目	練馬4丁目	貫井5―7	ふるさと文化館	ふるさと文化館	石神井町5―19	桜台6―20	春日町3丁目	北町2―38	中村南3―2				
迎接院	個人	愛染院	愛染院	光伝寺	光伝寺	光伝寺	八幡神社	池淵史跡公園	円明院	個人	練馬区	武蔵学園記念室	個人	個人	愛染院	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人

平成25年度	平成24年度	23	22	21
112	104	103	101	99
アニメーション撮影台	正親町天皇繪旨	北新井遺跡出土の土偶	武内家資料	丸山東遺跡出土の石椀
ふるさと文化館	桜台6-20	貫井5-17	ふるさと文化館	ふるさと文化館
丸山東遺跡出土の片口土器	明叟宗普道号頌	貫井の東高野山道標	天祖神社東遺跡出土の石核	
ふるさと文化館	桜台6-20	貫井5-17	ふるさと文化館	
森田家資料	明叟宗普書状	貫井の東高野山道標	天祖神社東遺跡出土の石核	
ふるさと文化館	桜台6-20	貫井5-17	ふるさと文化館	
草摺引図絵馬	妙福寺の駕籠	貫井の東高野山道標	天祖神社東遺跡出土の石核	
氷川台4-47	南大泉5-6	貫井5-17	ふるさと文化館	
氷川神社	妙福寺	個人	ふるさと文化館	

*1 平成7年度有形民俗文化財No.19へ種別変更のため欠番
 *2 平成20年度高坏形土器を追加し名称変更
 *3 墓誌は平成23年11月から石神井公園ふるさと文化館で保管

元	6	5	4	元
No.1	5	4	3	No.1
*鼈甲螺鈿蒔絵	*ホウキ製造技術	絵馬制作	*棒柄の製作技術	*土方吉雄・平成6年死亡により登録解除
所在地	(鹿島佐平・平成10年死亡により登録解除)	貫井5-14	(井口平蔵・平成7年死亡により登録解除)	所在地
所有者等	(篠田歳治・平成23年死亡により登録解除)	平田郡司		所有者等

(無形文化財)

元	63	昭和62年度	昭和61年度	No.
8	7	6	5	4
下練馬の富士塚	狐の大根取り入れ図絵馬	関のかんかん地藏	大八車	北町聖観音座像
北町2-41	西大泉3-13	関町東1-18	ふるさと文化館	北町2-38
浅間神社	諏訪神社	(管理者) 三宝寺	(管理者) 北町二丁目町会	北町観音堂

(有形民俗文化財)

平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度	平成15年度	平成14年度	平成13年度	平成12年度	平成11年度	平成10年度	平成9年度	平成8年度	平成7年度	6	5	4	3	2											
41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9
出羽三山・百八十八ヶ所	上石神井立野の庚申塔	三原台の馬頭観音	谷原の庚申塔	福徳元年の月待板碑	御嶽講奉納の水盤	八幡神社の石造大山不動明王像	高松の板碑型庚申塔	林稲荷神社の庚申塔	大氷川の力石	二十三夜待供養塔	谷原延命地藏	神輿渡御行列図絵馬	江古田の富士講関係資料	丸彫聖観音立像廻国供養塔	斎藤水車用具	醤油醸造業用具	井戸替え用具	棒屋資料	富士講巡拝装束	織部燈籠	石幢六面六地藏	長享二年の申待板碑	本寿院のみくじ道具	力持ち惣兵衛の馬頭観音	丸彫青面金剛庚申塔	金乗院の一石六地藏	僧形馬頭観音	高松の庚申塔	氷川神社の力石	文心元年の弥陀板碑	沢庵漬製造用具	氷川神社富士塚
上石神井1-11	上石神井1-11	三原台2-6	富士見台4-36地先	南大泉5-6	富士見台3-42	高松1-16	高松1-22	豊玉北1-7	氷川台4-47	下石神井6-1	谷原1-17地先	氷川台4-47	小竹町1-59	旭町2-9	ふるさと文化館	ふるさと文化館	ふるさと文化館	ふるさと文化館	石神井町5-19	石神井町5-19	ふるさと文化館	大泉学園町2-27地先	早宮2-26	下石神井5-7地先	錦2-4	早宮2-26	高松2-3	豊玉南2-15	石神井台1-16	ふるさと文化館	北町8-22	
練馬区	練馬区	個人	個人	妙福寺	稲荷神社	八幡神社	個人	林稲荷神社	氷川神社	天祖神社	氷川神社	氷川神社	浅間神社	稲荷神社	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	伊保ヶ谷戸庚申講	金乗院	本寿院	(管理者) 練馬区	氷川神社	道場寺	氷川神社	氷川神社

(無形民俗文化財)

No.	名称	所在地	保持者等
1	探湯の儀	中村3-8	御嶽神社 (保持者) 神田定男
2	関のぼろ市	関町北4-16	本立寺門前
3	八丁堀三吉囃子	八丁堀三吉囃子保存会(旭町地域)	
4	石神井囃子	石神井町囃子連(石神井町地域)	
5	中村囃子	中村囃子連(中村地域)	
6	*ちがや馬飾り	(内田安太郎・平成7年死亡により登録解除)	
7	*谷原の餅搗き唄	(増島兼吉・平成22年死亡により登録解除)	
8	*谷原の麦ボウチ唄	(増島兼吉・平成22年死亡により登録解除)	
9	関町囃子	関町囃子保存会(関町地域)	
10	鶴の舞	氷川台4-47 氷川神社	
11	神輿渡御の御供道中歌	氷川台4-47 氷川神社	
12	*ちがや馬飾り	(内田和助・平成24年死亡により登録解除)	
13	ちがや馬飾り	東大泉5丁目 加藤義雄	
14	*ちがや馬飾り	(山口勝男・平成21年死亡により登録解除)	
15	中里囃子	中里囃子連(大泉町地域)	
16	田柄囃子	田柄囃子保存会(田柄地域)	
17	石神井台囃子	石神井台囃子連(石神井台地域)	
18	南田中囃子	南田中囃子保存会(南田中地域)	
19	大山講灯笼立て行事	向三谷大山講 (下石神井1・2丁目地域)	
20	貫井囃子	貫井囃子保存会(貫井・高松地域)	
21	春日町囃子	春日町囃子連(春日町地域)	
22	富士見台囃子	富士見台囃子保存会 (富士見台地域)	
23	谷原囃子	谷原囃子保存会 (谷原・高野台地域)	
24	白山神社囃子	白山神社囃子連(練馬地域)	
25	北町囃子	北町囃子保存会(北町地域)	
26	上石神井囃子	上石神井囃子連(上石神井地域)	
27	ちがや馬飾り	北町3丁目 丹羽幸男	
28	ちがや馬飾り	錦1丁目 伊藤弥五郎	

◆石神井公園ふるさと文化館(石神井町5-12-16)
 ※9時~18時開館※毎週月曜日休館 ☎03(3996)4060

(史跡)

No.	名称	所在地	所有者等
1	東高野山奥之院	高野台3-10	長命寺
2	*4小野蘭山墓	(欠番)	
3	池永道雲墓	練馬4-27	受用院・個人
4	尾崎遺跡	春日町5-12	練馬区
5	池淵遺跡	石神井町5-13	練馬区
6	栗原遺跡の堅穴住居跡	氷川台1-7	
7	千川上水跡	城北中央公園 東京都	
8	旧大泉村役場跡	関町南2-4丁目他 東京都	
9	田柄用水記念碑	大泉学園町2-2	練馬区
10	千川家の墓	田柄4-27	天祖神社
11	河野鎮平筆子碑	北町2-18	阿弥陀堂・個人
12	田柄用水跡	春日町3-2	寿福寺
13	圓淨法師塚	石神井台8-21	
14	観藏院の筆子碑	けやき憩いの森 練馬区	
15		春日町5-35	練馬区
16		南田中4-15	観藏院

*4墓誌を追加し名称変更・有形文化財No.98へ種別変更のため欠番

(名勝)

No.	名称	所在地	所有者等
1	牧野記念庭園	東大泉6-34	練馬区

(天然記念物)

No.	名称	所在地	所有者等
1	練馬白山神社の大ケヤキ	練馬4-2	白山神社
2	井頭のヤナギ	東大泉7-34	大泉井頭公園
3	カタクリ群落	大泉町1-6	
4	八の釜の湧き水	清水山憩いの森 練馬区	
5	内田家の屋敷林	東大泉2-27	八の釜憩いの森 (所有者) 個人
6	練馬東小学校のフジ	早宮3丁目	個人
7	光伝寺のコウヤマキ	春日町1-30	練馬東小学校
8	開進第一小学校のクスノキ	氷川台3-24	光伝寺
9	土支田八幡宮の社叢	早宮2-1	開進第一小学校
10	井口家の屋敷林	土支田4-28	土支田八幡宮
11	金乗院の大イチヨウ	立野町	個人
12		錦2-4	金乗院

【1ページから続く】

アニメーション撮影台

(登録有形文化財)

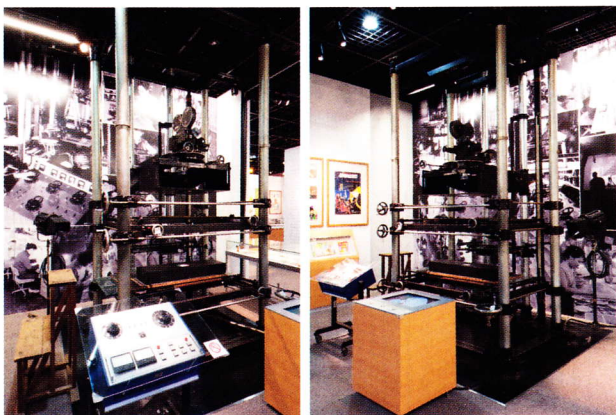
〈所在〉石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館

昭和34年(一九五九)から平成9年頃まで東映アニメーション株式会社(当初は東映動画株式会社)で使用された国内に残る数少ないアニメーション専用のマルチプレーン撮影台です。

高さは3.5m、幅2.0m、奥行き1.56mです。アニメーションに遠近感の効果をもたせるために多段式遠隔装置が付いており、線画台、遮光板、配電盤などの付属品も一式残っています。

昭和35年公開の『西遊記』など数多くの作品の撮影に使用されました。



文明十七年の月待板碑

(登録有形民俗文化財)

〈所在〉錦1-19-25 円明院

文明17年(二四八五)に月待供養のために造立された板碑です。緑泥片岩製、ほぼ完形で、高さは78.0cm、幅27.5cm、厚さは3.5cmです。阿弥陀三尊を表す梵字3字や日・月、僧俗5人の名前などが刻まれています。

月待とは、二十三夜などの決まった月齢の夜に人々が集まり月を拝む習俗のことです。



拓本

文亀元年の月待板碑

(登録有形民俗文化財)

〈所在〉錦1-19-25 円明院

文亀元年(二五〇二)に月待供養のために造立された板碑です。緑泥片岩製、上部・下部が欠損しており、現状の高さは40.5cm、幅34.5cm、厚さ4.0cmです。三具足(仏前に供える香炉・華瓶・

燭台の一揃い)の図像や、僧俗7人の名などが刻まれています。



拓本



なお、今回登録した「丸山東遺跡出土の片口土器」、「森田家資料」の一部、「文明十七年の月待板碑」などを石神井公園ふるさと文化館で展示していますので、ぜひお立ち寄りください。

〈展示期間〉5月16日(金)まで

※休館日は月曜日(但し、月曜日が

祝休日のときはその翌日)

石神井公園ふるさと文化館

石神井町5-12-16

電話03-3996-4060

文化財をご覧になる時には、所有者や周囲の方々の迷惑とならないようご配慮ください。また、非公開の文化財もありますので、ご注意ください。

庚申塔を移設しました

桜台5-31所在の石造物の寄贈をうけ、2月に区立高稲荷公園(桜台6-40)へ移設しました。

石造物は、正面の中央に青面金剛立像が浮彫りされ、上部に日・月が刻まれる庚申塔です。刻まれた文字によると、元禄2年(一六八九)2月17日に地域の8人が庚申待の成就を記念し造立したと考えられます。

高さは143cm、幅は43cmの駒型の庚申塔です。駒型は区内で多くみられる典型的なものです。かつて旧道の辻(桜台5-43)に所在しました。

60日に一度巡ってくる庚申の日の夜は、人が眠ると体内から三尸の虫が抜け出て、天帝にその人の罪を報告し寿命を縮めるといふ教えがありました。庚申待は、これを防ごうと一晩眠らずに過ごすことで、区内でも各所で人々が講を結び、当日の晩に一堂に会して夜を明かしました。区内には現在130基余りの庚申塔が残っています。

